

東京家政大学

東京家政大学は、学生一人ひとりが成長できる教育プロセスの実現のため、入学者選抜の改革を進めている。2020年度に新設したグローアップ入試に続き、2022年度には一般選抜と総合型選抜を中心に変更・改革を行った。そして、2023年は、学力の3要素をより評価できる選抜方式をめざす。

主体的に学ぶ意欲がある受験生を評価する

「渡邊辰五郎（自主自律）入試」

総合型選抜「渡邊辰五郎（自主自律）入試」は、従来どおり一次審査（評定平均値、エントリースシート、文章表現を課す）と二次審査（学科ごとのアドミッションポリシーに則った課題を課す）で実施し、学力の3要素を多面的に評価する。大学の教育理念への理解度を測り、学科の求める人物像と合致しているかどうかを最も重要視する選抜方式だ。

「知識・技能」を中心に学力の3要素を

総合的に評価する選抜（併願制）を新設

2022年度より総合型選抜「共通テスト併用型（併願制）」を新設。大学入学共通テスト（学科指定の大学3科目・短大2科目選択、ただし英語コミュニケーション学科と看護学科は英語必修）を利用して「知識・技能」を重視するに加え、高等学校での活動や自分自身の特技・長所を記入した自己推薦書と高等学校からの調査書（評定平均値）を得点化し、学力の3要素を総合的に評価して可否を判定する。併願制のため、出願後も他大学等への受験が可能。国公立大学第一志望の受験生等にも受験機会を広げる選抜方式だ。

基礎学力調査と入学前準備教育が

一体化した「グローアップ入試」

入試改革に先行して2020年度入学者選抜

より実施している「グローアップ入試」は、入試を「選抜」のためだけではなく、「成長」のプロセスとして位置付ける選抜方式だ。書類審査と学力調査（国語（情報観点含む）、英語（数的観点含む））、面接にて選考を実施。児童学科をはじめとする計6学科が対象の「知識・技能重視型」とそのほかの学科を対象とする「バランス重視型」の2方式で行われる。それぞれ各選抜方法の配点が異なるため、詳細は要確認。

学力調査の結果は入学前準備教育のコース分けにも使用。「選抜」と「入学前準備教育」、そして「入学後の教育」を一体的に見据えた入学者選抜を実施する。また指定校推薦に関しては、従来どおり書類審査と面接で評価（ただし、コース分けのためにプレースメントテストを実施）する。

一般選抜は大学入学共通テストや調査書を

用い、学力の3要素をより評価する選抜に

一般選抜1期では、個別試験（国・数・英から1科目選択）＋大学入学共通テスト（自己申告1科目、看護学科は2科目）で合否判定することで「知識・技能」だけでなく「思考力・判断力・表現力」も評価する選抜である。さらに、2023年度より一般選抜2期では、大学入学共通テスト（2科目、看護学科のみ3科目）＋総合問題（記述式含む）＋調査書（評定平均値）で判定し、「知識・技能」に主体性や思考力、表現力等の評価を加える方針だ。また昨年同様、大学入学共通テストの成績のみで選抜を行う「大学入学共通テスト利用入試」も実施する。

INFORMATION

オープンキャンパス

6/5*・12*
SUN SUN
7/10*・24*
SUN SUN
8/7*・21*
SUN SUN

* 狭山キャンパス ☆ 板橋キャンパス

- 全学年（既卒者含む）対象
- 事前申込制

造形表現学科では、学科独自のオープンキャンパスを開催しています。

WEBオープン
キャンパスも実施中▶



副学長
アドミッションセンター 所長
造形表現学科 教授
押元 信幸

期待する受験生像

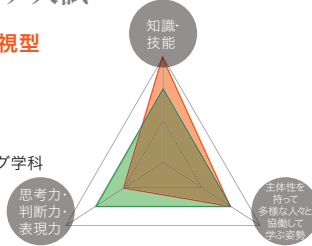
東京家政大学では、公務員試験や国家試験などの資格取得を目標とする学生が多く、各部門で高い合格率を誇っています。学生のみなさんにはその先にめざす将来像を持ってほしいです。少子高齢化により今後の日本社会が抱える問題を踏まえると、よりスキルレベルの高い人材が求められています。資格取得を最終目標とするのではなく、さらに一歩踏み込み社会のニーズに応えられるよう、常に成長し続けることができる人になってほしいと願っています。ぜひ一度オープンキャンパスに足を運び、将来像と結びつくか確認してみてください。

グローアップ入試

知識・技能重視型

対象学科

児童学科
児童教育学科
栄養学科
心理カウンセリング学科
教育福祉学科
看護学科



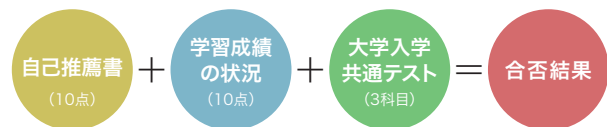
バランス重視型

対象学科

服飾美術学科
環境教育学科
造形表現学科
英語コミュニケーション学科
リハビリテーション学科
子ども支援学科
短大（保育科、栄養科）

総合型選抜（共通テスト併用型）

「知識・技能」を中心に学力の3要素を評価



一般選抜1期（共通テスト併用型）

「思考力・判断力・表現力」をより評価



一般選抜2期

「知識・技能」に加え「思考力」「表現力」「主体性」等の評価を重視



アロー総研のフカボリ①

4年間の学びを見据えた「成長」重視の入学者選抜を展開

東京家政大学では、学力の3要素をより評価できるような入試改革の実質化と、今後の高等学校指導要領の改訂にも柔軟に対応し将来的に持続可能な選抜方法へ変更していくため改革を実施している。2021年度から学校推薦型選抜を受験生(学生)の成長に資する選抜方式と位置付け、単に評価・選抜するだけでなく、入試を端緒として一人ひとりが成長できる教育プロセスにつなげることをめざした。そして次の段階として実施されるのが、一般選抜（一部総合型選抜を含む）の改革である。共通テスト利用型の総合型選抜や一般1期、2期、さらに総合問題と調査書（評定平均値）を利用する一般2期を導入することで、従来より多面的・総合的に学力の3要素を評価する選抜をめざす。

また同学では、学生一人ひとりの「成長」を支えるため「入学前準備教育」にも余念がない。合格者一人ひとりの学力レベルに合わせた教材を提供し、無理のない形で学力の向上を図る。これによって、大学入学後の学びへとスムーズに移行することが狙いだ。

アロー総研のフカボリ②

親身なサポートが可能にする高い就職決定率

就職決定率：【大学96.5%】【短大97.8%】

（令和3年3月卒業生実績）

東京家政大学では、就職に直結する各種国家試験の合格率が全国上位を誇っており、資格合格に向けた学びの環境が充実している。

国家試験合格率（令和4年3月卒業者）

看護師国家試験：合格率99.0%（全国平均91.3%）
保健師国家試験：合格率100%（全国平均89.3%）
助産師国家試験：合格率100%（全国平均99.4%）
社会福祉士国家試験：合格率93.1%*（全国平均31.1%）
精神保健福祉士国家試験：合格率75.0%（全国平均65.6%）
管理栄養士国家試験：合格率99.5%（全国平均65.1%）

*私立大学現役合格率4年連続日本一を達成！

2023年度 入試日程（予定）

試験種別	学科等	願書受付		試験日	合否発表	入学手続締切	
		開始	締切				
渡邊辰五郎(自主自律)	大学・短大	10/14 (金)	10/19 (水)	1次 9/25 (日) 2次 10/9 (日)	11/1 (火)	11/8 (火)	
グローアップ	大学・短大	11/1 (火)	11/7 (月)	11/13 (日)	12/1 (木)	12/6 (火)	
新総合型選抜	大学・短大	1/10 (火)	1/31 (火)	1/26 (木)・1/27 (金)	2/13 (月)	2/16 (木)	2/21 (火)
統一地区入試	大学・短大	1/10 (火)	1/18 (水)		2/1 (水)	2/6 (月)	2/9 (木)
1期	大学・短大	1/10 (火)	2/3 (金)		2/13 (月)	2/16 (木)	2/21 (火)
2期	大学・短大	1/10 (火)	2/24 (金)		3/4 (土)	3/8 (水)	
*大学・短大 共通テスト利用入試	A日程 共通テスト受験後に出願	1/10 (火)	2/2 (木)		2/13 (月)	2/16 (木)	2/21 (火)
	B日程 共通テスト受験後に出願	1/10 (火)	3/3 (金)		3/10 (金)	3/17 (金)	

◎推薦入試は単願

◎一般選抜、共通テスト利用入試は併願可。ただし一般選抜における看護学科はリハビリテーション学科を除く他学科との併願は不可。

◎造形表現学科と子ども支援学科では独自の総合型選抜を実施します。詳細は同学ホームページを要確認。